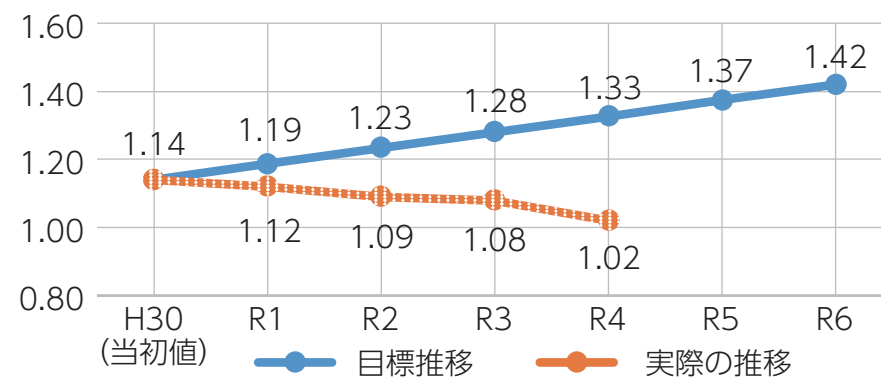


1 策定の背景

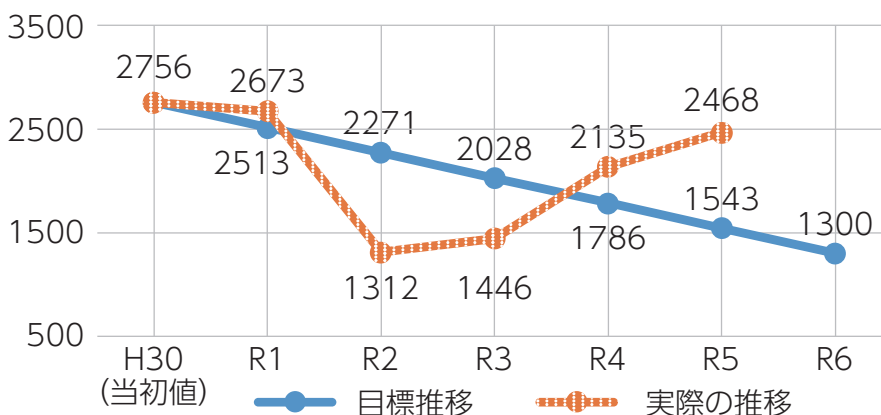
- 国は、人口減少に歯止めをかけ、東京圏への人口の過度の集中を是正し、活力ある社会を維持していくことを目指し、平成26年(2014年)に「まち・ひと・しごと創生法」を制定し、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」、「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を策定
- 札幌市では、平成28年(2016年)に「さっぽろ未来創生プラン」、令和2年(2020年)に「第2期さっぽろ未来創生プラン」(以下「第2期計画」という。)を策定し、人口減少対策に資する取組を推進
- 先般、「第2次札幌市まちづくり戦略ビジョン」を策定し、人口減少緩和プロジェクトを定め、**「若い世代へ向けたアプローチの強化」という新たな柱**を掲げた。
- 第3期計画は、**札幌市が人口減少局面に移行して初めての計画**、これまでも増して重要な意義を有することから、地域特性を捉えたより効果的なものとする。

2 第2期計画の評価

- 「合計特殊出生率」は、当初値から**減少が続いている**。要因は未婚・既婚非出産などによる出生数の減少



- 「20～29歳の道外への転出超過数」は、令和2、3年と減少したが、令和4年(2022年)以降は**当初値の水準に戻りつつある**。

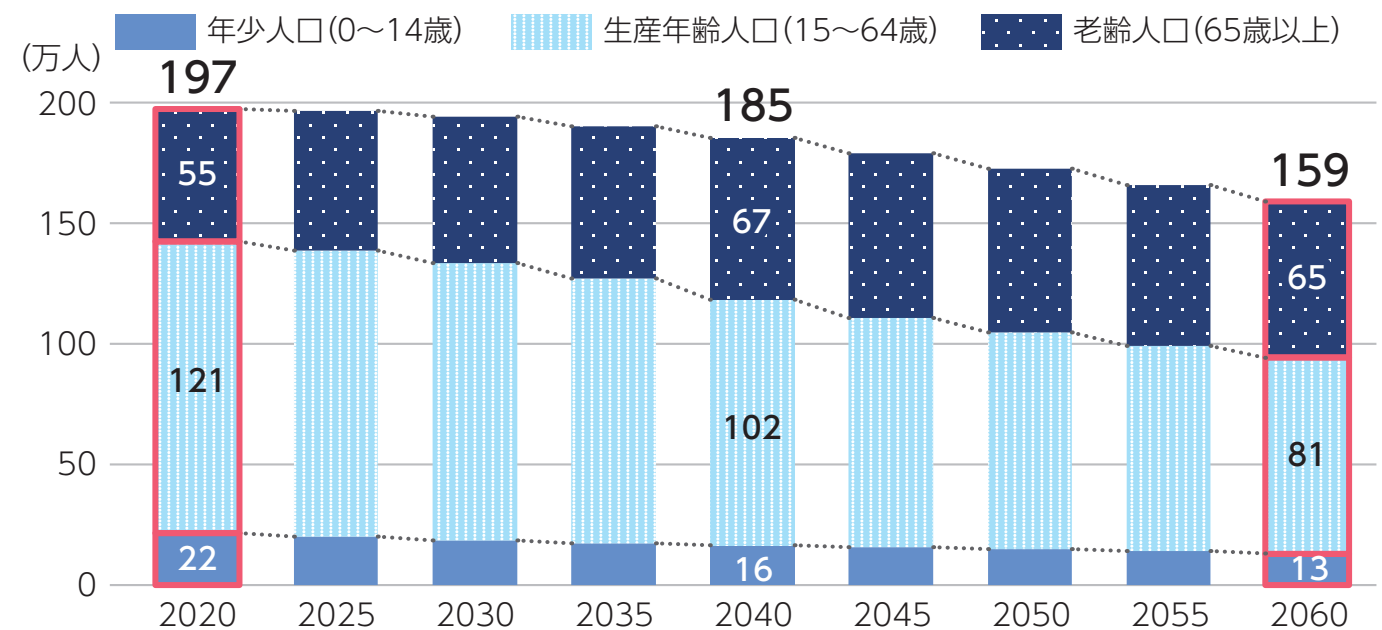


- 基本目標ごとのKPIは目標を達成しているものや当初値から数値が改善しているものも多いという状況も見受けられる。

3 人口ビジョン編

- 令和2年(2020年)の国勢調査をもとに札幌市が独自算出した将来推計人口では、札幌市の人口は、令和42年(2060年)には159万人、令和2年(2020年)の197万人から**38万人減少**と推計
- 年齢別では、経済活動を主に支える生産年齢人口(15～64歳)は、令和42年(2060年)には81万人、令和2年(2020年)の121万人から**40万人減少**と推計

札幌市の人口の将来見通し(各年10月1日現在)



注:2020年は国勢調査の確定値(不詳補完値)である。 <資料>総務省「国勢調査」、札幌市

- 札幌市は、有配偶率、有配偶出生率ともに**21都市平均、全国平均よりも低く、有配偶出生率は20位、第二子以上の有配偶出生率は21位**
- 札幌市の合計特殊出生率の低さには、**「未婚」、「既婚非出産」、「非複数子」の要因が大きく影響を与えている**。
- それぞれの要因に対し「両親に子育てをサポートしてもらいにくいから」など原因となり得る仮説を設定し、分析した結果、**「所得・労働環境」、「育児環境」、「出会い」、「価値観」といった分野に課題**

	札幌市	21都市平均	全国平均
有配偶率	44.1%	46.2%	47.9%
有配偶出生率	66.8	74.7	73.0
第二子以上の有配偶出生率	33.6	37.9	38.9

3 人口ビジョン編

所得 労働環境	正規・非正規の格差、女性有業率や共働き率の低さに課題があり、 「働きやすい環境づくり」の推進 が必要
育児環境	女性だけが子育てをするものといった考えを変え 、夫婦で子育てをすることはもちろん、 様々な方のサポートで子育てをするといった環境や考えの普及や長時間労働の是正 が必要
出会い	女性に比べ男性が少ないことが 出会いの減少 につながっている可能性があり、 転出防止、道外転入の促進 が必要であるとともに、 出会う機会の不足 に対して 婚活支援も重要
価値観	「子どもを欲しくない」や「結婚の必要性を感じない」といった考えも見られる。家族を持つか否かに関わらず、札幌市で 明るい将来を描けるような取組 が必要

目指すべき将来の姿

誰もが幸せを感じ、希望を実現している、魅力と活力に満ちあふれる未来

- 職場・家庭などにおいてジェンダー平等が実現している。
- 観光・スポーツ・文化芸術などの面で、札幌市の魅力が一層高まっている。
- 結婚・出産・子育ての不安を緩和する支援や保育サービス、家計負担の軽減に向けた支援が充実し、結婚、出産や子育てに関する市民の希望が実現している。
- 子育てをする市民が子育てを楽しみながら生き生きと暮らしている。
- 若者がより一層札幌市の魅力・特色を感じている。
- 若者が心や体の健康を正しく理解し、自分らしいライフデザインが描ける環境が整っている。
- 誰もが幸せを感じることができ、生涯を通じて健康的で生き生きと活躍している。
- 高度人材などの雇用の受け皿となる企業が成長している。

基本方針①人口減少の緩和

自然増加 札幌市の 合計特殊出生率が希望出生率等に近づく、かつ、より早く近づく ことで、令和42年(2060年)までの人口減少の幅を圧縮することが可能	社会増加 札幌市への 人口集中に配慮 しながら、 道外の方を中心に積極的に呼び込む ことで、札幌市、さっぽろ圏、ひいては北海道全体の人口減少の緩和に寄与
--	--

札幌市としては、自然増加と社会増加の両面から人口減少をより緩やかにすべく、**質の高い雇用創出と魅力的な都市づくり、結婚・出産・子育てを支える環境づくり、そして、若い世代へ向けたアプローチの強化**を中心に人口減少の緩和に向けた取組を推進

基本方針②人口減少への適応

将来推計人口通りに進めば40万人程度減少する可能性があり、人口減少緩和の推進により減少幅を圧縮することができても減少そのものは避けることができない。

一定程度の人口減少は避けられない前提のもと、最先端技術の活用や、女性・高齢者はもとより、**外国人も含めた多様な人材の活躍促進**を図り、**行政サービスを持続的に提供し、札幌市での暮らしに幸せを感じるための取組**を推進

4 総合戦略編

人口減少緩和戦略

質の高い雇用創出と魅力的な都市づくり

(1)産業の基盤づくりと競争力の強化
(2)働きやすい環境づくりと人材育成・確保
(3)行きたくなる・暮らしたくなる魅力づくり

結婚・出産・子育てを支える環境づくり

(1)子どもを生み育てる世代への切れ目のない支援
(2)子育てを支える地域社会の形成
(3)子どもが健やかに育つ環境の充実

若い世代へ向けたアプローチの強化

(1)様々な出会いの創出
(2)若者に選ばれる札幌づくり

数値目標	現状値	目標値
合計特殊出生率	1.02(令和4年(2022年))	1.35(令和11年(2029年))
20～29歳の道外への転出超過数	2,468人(令和5年(2023年))	600人(令和11年(2029年))

人口減少適応プロジェクト

市民が幸せになるための取組の強化

外国人材に選ばれる環境づくり

持続可能な都市の在り方の検討

4 総合戦略編～人口減少緩和戦略

質の高い雇用創出と魅力的な都市づくり

(1)産業の基盤づくりと競争力の強化

①次世代型産業を見据えた創業・開発支援と企業誘致

●GX投資の推進

特区を活用した規制改革等の推進や、GX情報等の発信、英語ワンストップ相談窓口の開設など、GX産業の集積と金融機能の強化・集積に向けた取組の推進

●半導体関連産業の集積促進

半導体設計企業や次世代半導体のユースケースを創出するAI企業等の立地促進と、トップレベル人材の育成を推進

●イノベーションの創出

新たな技術やアイデアで社会課題を解決するスタートアップによる行政オープンイノベーション等の実施

●IT産業への支援

AI、XRなどの成長分野を始めとする新たなビジネス展開を支援

●新たな企業の創業・立地

スタートアップ創出に向けた支援や積極的な企業誘致活動

②地元企業のチャレンジを応援する競争力強化支援

●中小企業の支援

新製品・新技術の開発やデザイン経営の導入促進等による市内企業の付加価値向上支援等

●市内企業のSDGsの推進

企業活動を通じてSDGsに取り組む企業の「見える化」を通じたSDGs経営の推進

●国内外への販路拡大支援

官民連携による商談機会の創出や海外進出に取り組む企業へのニーズに応じた支援等

(2)働きやすい環境づくりと人材育成・確保

①ワーク・ライフ・バランスの促進

●働きやすいまち札幌

経済界、労働界、札幌市の3者からなる協議会により、人手不足の解消や、労働者の雇用環境の向上への対応方針の検討等

●ワークライフバランスに取り組む企業への支援

テレワークの導入補助等による働き方改革や人材確保・定着の推進、育児休業取得者が生じた際の助成を行うなど働きやすい職場環境整備のための支援

●女性活躍の推進

個別相談やセミナー、在宅ワーク向けスキル講座等を通じて、就労を支援

②さっぽろ圏を支える多様な人材の確保

●道外からのUIターン促進

職業紹介や移住支援金などを通じたUIターンの支援等

●さっぽろ圏内企業への就職促進

認定する企業等へ就職しさっぽろ圏内に居住した場合、奨学金返還を支援

●人材確保に向けた魅力発信

建設やものづくり産業など人手不足業界のイメージアップや魅力発信を行うための取組の推進、求人情報発信補助金の件数拡充、市内路線バス運転手の確保促進に資する取組等

●広域的な連携強化・関係人口の創出

さっぽろ連携中枢都市圏の住民と道内市町村をつなぐまちづくり活動の促進等

③働きたい人と企業を支援する人材育成・マッチング支援

●様々な分野の人材育成

IT人材の育成の推進やIT人材の確保の支援、外国人材や国際ビジネス人材の就職の支援、観光事業者のスキルアップや、産学連携による人材育成の実施等

●地元企業とのマッチング

職業紹介、スキルアップ講座、職場体験等の各種サービスや正社員としての就職等の可能性のある就職支援

●高齢者の活躍推進

高齢者雇用の意識醸成を図る企業向けセミナー及び体験付き仕事説明会の開催

(3)行きたくなる・暮らしたくなる魅力づくり

①札幌ならではの観光資源の魅力アップによる観光の推進

●持続可能な観光推進

観光関連事業者への普及啓発や市民理解の促進、計画策定や財源確保、推進体制の強化等の観光マネジメント機能の強化

●国内外からの誘客推進

道内市町村と連携した北海道・札幌の魅力の発信や周遊促進の取組の展開等

4 総合戦略編～人口減少緩和戦略

質の高い雇用創出と魅力的な都市づくり

- 観光資源の充実
さっぽろ雪まつり、さっぽろオータムフェストなどのイベント、定山溪地区のPR、円山動物園などの施設機能等の充実
- MICE誘致の強化
MICE誘致による高い経済効果の獲得とレガシー効果を生み出すための開催効果最大化に向けた取組等
- 雪と共存したまちの魅力向上
スノーリゾートとしてのブランド化に向けて市内スキー場の魅力向上など冬季観光コンテンツの充実等

②訪れる人・住む人にとって魅力あるまちの推進

- 観光客の満足度向上
観光情報の発信・案内をはじめ、無料Wi-Fiの運用、観光案内サイン等の維持管理、観光バス対策、観光施設の魅力アップ等の受入環境整備の実施
- 観光客の受入体制の充実
オーバーツーリズムの未然防止・抑制に向けた取組や市内観光施設への交通利便性向上に向けた取組、宿泊施設のバリアフリー化推進のための改修に係る経費の補助等
- スポーツイベントの誘致・スポーツ施設の活用促進
国際的スポーツイベントや、パラスポーツ、アクションスポーツ大会の誘致等
- 文化芸術活動の振興
パシフィック・ミュージック・フェスティバル札幌や札幌国際芸術祭等の開催等
- 居心地が良く歩きたくなる空間形成等
居心地が良く歩きたくなり、多様な活動ができる・滞留したくなる空間の形成に向けて、都心・地域交流拠点・住宅地それぞれの特性を生かした空間整備の推進
- 商店街の活性化
商店街によるにぎわいづくりや集客力の向上のための取組の支援、商店街の組織基盤の強化の支援等
- みどり豊かな都心づくり
魅力あふれる公園づくりや都心のみどりづくりを推進
- ICTを活用したまちづくり
データの収集・活用によるICTを活用したまちづくりの推進、窓口業務についてデジタル技術などを積極的に取り入れた取組の実施等
- 魅力向上に資する地域づくり
若い世代や子育て世代が住みやすい環境の整備、新たなにぎわいの創出や地域の魅力向上、魅力発信の推進
- 交通ネットワークの充実
魅力と活力あるまちの推進に向けて、移動環境のさらなる充実・強化

結婚・出産・子育てを支える環境づくり

(1)子どもを生み育てる世代への切れ目のない支援

①安心して結婚・出産・子育てができる支援体制の充実

- 若者の出会いの場づくり
オンライン結婚支援センターの運営等により結婚に向けた支援を実施
- 妊娠前の支援
不妊治療に際し医療保険適用外により医療費が高額となる先進医療に要する費用の一部を助成
- 産前・産後ケアの充実
妊娠期から出産・育児まで各段階に対応できる一貫性・整合性のある切れ目のない支援体制の強化
- 子育てに関する不安の緩和
母子生活支援施設への職員配置の強化、妊娠期から出産後までの継続した支援

②子育て環境の整備・充実

- 安全な保育環境の確保
保育人材確保・就業継続等の取組、保育職を目指す次世代の人材の増加に向けた中高生等を対象とした広報活動等
- 多様な保育サービスの提供
全ての子育て家庭が就労要件に関わらず生後6か月から満3歳未満の未就園児を時間単位で柔軟に通園、保育所等における医療的ケア児の受入体制の整備や、子育てと就労の両立のための子どもが病気の際などにおける一時預かり等
- 放課後の居場所の充実
ミニ児童会館の狭隘な状況の解消、インターネットの整備により児童会館で放課後に多様な手段で学習できる環境整備、**放課後児童クラブでの昼食提供事業の充実**

③子育て世帯の経済的負担の軽減

- 子ども医療費助成の助成対象の拡大
子育て支援環境の充実を図るため、子ども医療費助成の助成対象を高校3年生まで拡大
- 第2子以降の保育料無償化
認可保育所等における第2子以降の保育料について、世帯年収・兄弟姉妹の年齢差に関わらず無償化

4 総合戦略編～人口減少緩和戦略

結婚・出産・子育てを支える環境づくり

●子育てにかかる費用の負担軽減

妊娠期から出産・子育てまでの一貫した支援の充実、給付金の支給による経済的負担の軽減等

●ひとり親家庭等の経済的負担の軽減

ひとり親家庭等に対する医療費の助成など経済的負担の軽減

(2)子育てを支える地域社会の形成

①子育て参加環境の充実

●働きやすいまち札幌(P3再掲)

●ワークライフバランスに取り組む企業への支援(P3再掲)

●女性活躍の推進(P3再掲)

②地域における子育ての推進

●孤育てを防ぐ地域の子育て支援

子育てサロンの実施、子育て経験のあるボランティアによる家庭訪問型の支援、さっぽろ子育て情報サイトやアプリの利便性の向上等

●特別支援教育に係る相談体制の充実

子どもの保護者からの相談に対応できる体制の充実

●子育て支援施設の運営

拠点となる区保育・子育て支援センターによる地域の子育て支援の推進

(3)子どもが健やかに育つ環境の充実

①多様な学びを促す充実した教育環境の整備

●多様な学びの機会の充実

小学校高学年を対象として働く大人、社会や職業に関わる様々な現場に直接触れることのできる企業訪問型の職業体験事業の実施等

●子どもが学ぶ環境の充実

各校に有償ボランティアである学びのサポーターの配置、特別な教育的支援を必要とする児童生徒が学校生活を送る上で必要な支援の充実、生活困窮世帯の子どもに対する**座学ではない学習活動の強化も含めた**学習習慣の定着を図り高校進学を実現するための学習支援等

●体を動かす機会の充実

子どもの運動・スポーツの機会の一層の充実、子どもたちに対してスポーツや身体を動かすことの楽しさを体感できる機会の提供

●プレーパークの推進

地域住民等が規制を極力排除した公園等において開催・運営する「プレーパーク」の推進

●1人1台端末の利活用の推進

GIGAスクール構想にて整備した1人1台端末を活用した効果的な授業展開のため、ICT機器や教材の整備を推進

●小中一貫した教育の推進

小中一貫した教育の更なる推進を図るため、モデルとなる義務教育学校を設置

②子どもが安全・安心に過ごせる環境の充実

●子どもを支える環境の充実

医療的ケアを必要とする児童への訪問看護の提供や短期入所で受入れる体制を維持・改善。社会福祉に関する専門的な知識や経験をもつ専門家であるスクールソーシャルワーカーの活用や、**社会的養護を利用している子どもを対象とした意見形成・表明支援の実施、持続可能な給食提供の在り方の検討**

●子どもを守る体制の充実

心の専門家であるスクールカウンセラーの全学校配置、いじめ等の防止のための子どもへのアンケート調査等

●経済的困難を抱えた子どもへの支援

技能習得を目的とした高等学校等に通う生活困窮世帯の学生又は生徒に対する奨学金の支給、意欲や能力があるにも関わらず経済的理由によって就学困難な学生又は生徒に奨学金を支給(いずれも返還義務なし)



4 総合戦略編～人口減少緩和戦略

若い世代へ向けたアプローチの強化

(1)様々な出会いの創出

●大学との連携強化

大学を起点とした多様な主体との連携の促進、人口減少等の地域課題解決に向けた取組の推進

●若者の出会いの場づくり(P4再掲)

●道内市町村とのつながりの創出

札幌の都市機能の活用促進や、さっぽろ圏の住民が道内市町村に関心を持つきっかけを創出するなど、道内市町村をつなぐまちづくり活動の促進等

●次世代の担い手の育成

まちづくり活動の大切さや必要性に気付く機会とまちづくり活動への参加機会の拡大、若年層に対してものづくり企業の魅力の発信のほか、小学校・中学校におけるキャリア教育の推進



(2)若者に選ばれる札幌づくり

●人口減少対策に資する官民連携の推進

民間提案の受付や情報提供・情報発信等を一元的に行う窓口の設置・運営等を通じ、道外を中心に若者を呼び込むなど人口減少対策に関する企画をはじめ地域・行政課題の解決に資する官民連携の取組を推進

●道外の若者を中心とした移住の促進

道外からの移住を促進するため、特に若者をターゲットとした移住情報を中心に、ポータルサイトの活用等による情報発信を充実させるとともに、移住相談・地域の魅力発信の強化及び地域おこし協力隊の活用を検討

●目指すべき将来の姿・子育て等の魅力の発信

札幌の目指すべき将来の姿の共有や、子育て等のイメージアップを図るため、目指すべき将来の姿を特に若者が具体的にイメージできるような情報発信や、子どもや子育ての良さ・喜びを幅広い世代で共有、共感できるような取組の推進

●ウェルネスの推進

市民の健康寿命延伸のため、健康意識の向上や健康行動の促進を図る取組を、産学官連携により効果的に実施するとともに、居心地が良く歩きたくなり、多様な活動ができる・滞留したくなる空間形成に向けた整備の推進。また、図書館DXの推進による利便性向上等を図り、生涯にわたる学びを支える拠点としての機能を強化

●困難を抱える若者等への支援

若者の孤立防止等を目的に、若者同士の交流や社会参加を促進。様々な悩みや困難を抱えた主に10代後半から20代の女性を対象に支援を必要としている方とつながり、アウトリーチ型支援の実施。相談体制の強化など社会から孤立・孤独状態にある女性への支援

●まちづくり・ライフデザインに関する意識の向上

まちづくりへの参画やまちへの愛着につなげることを目的に、高校生や大学生からまちづくりに関して提案をいただく取組を推進。また、妊娠、出産、育児等に関する情報の普及などライフデザインに関する意識向上に向けた取組を推進

●札幌らしさが好きになる取組の充実

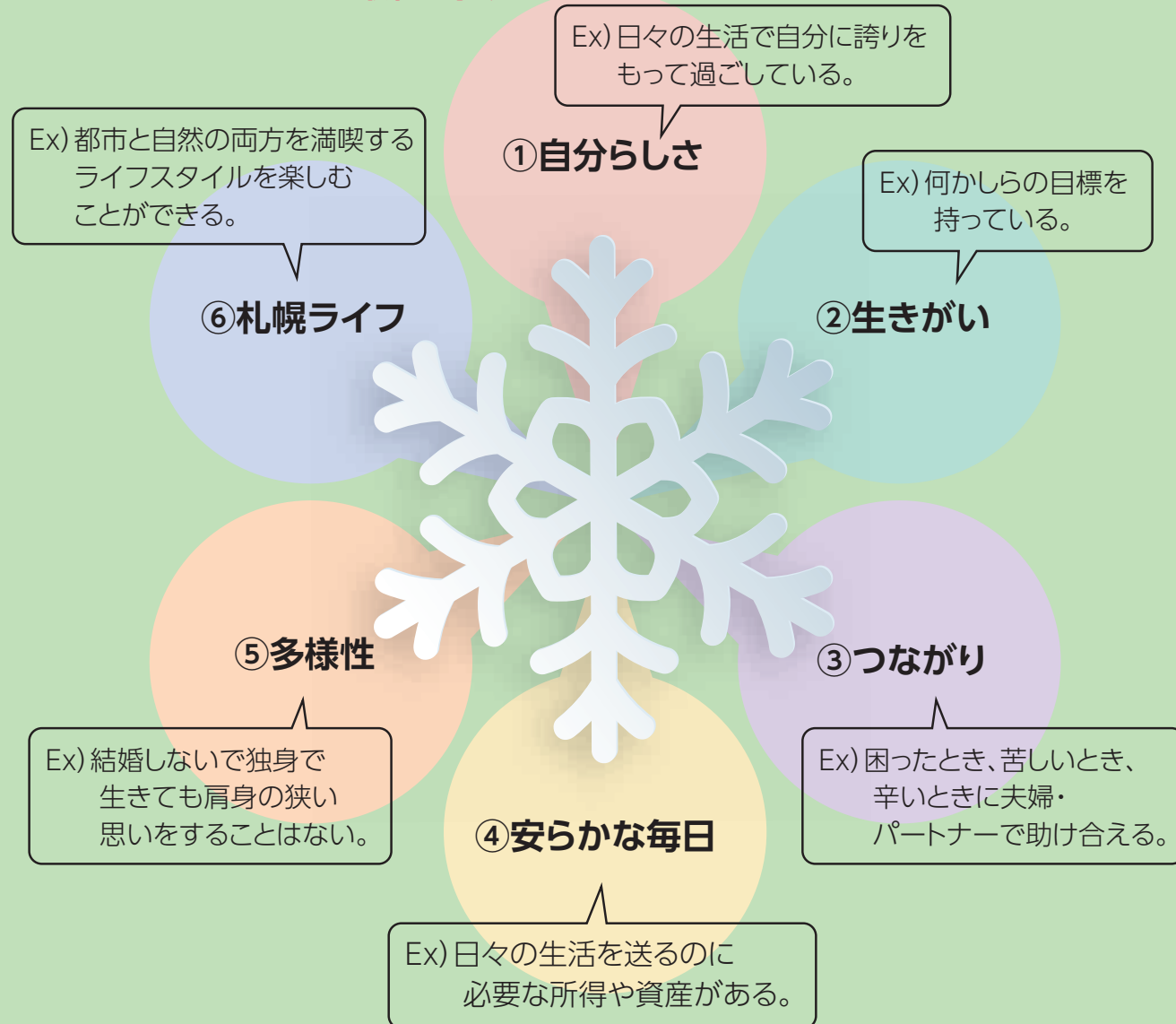
スキーをはじめとする冬季におけるスポーツや身体を動かすことの楽しさを体感できる機会の提供、札幌における文化芸術やさっぽろ雪まつりなどの特色あるイベントの充実



4 総合戦略編～人口減少適応プロジェクト

市民が幸せになるための取組の強化

- 主観的指標である「札幌Well-being指標」を設定
- 市民の満足度、幸福度などを各設問を通じて数値化・可視化
- Well-beingを向上させるためには、市民一人一人の行動と意識が必要
- ポータルサイト・ワークショップ等様々な手法を用いて、Well-beingの向上を自分ごとにしてもらうための取組を推進



- ✓今の人生の幸福度を0～10の11段階で回答
- ✓5年後の人生の幸福度を同様に回答
- ✓6つの個別指標に基づく45の設問を5段階で回答

外国人材に選ばれる環境づくり

将来的な生産年齢人口の減少や人手不足に対応するためには、人口減少緩和戦略における主に日本人を対象とした女性や高齢者の活躍推進などの取組に加え、外国人材に選ばれる環境づくりも特に重要

- 外国人に向けた情報発信
生活情報や市政情報などの発信の多言語化
- 外国人雇用の拡大
外国人雇用を促進するため、セミナーの実施、成功事例の発信、市内中小企業と国内外国人留学生とのマッチングなどの企業への支援
- 多文化共生等の推進
日本語習得支援や医療受診サポート体制の拡充など、各種支援を通じた外国人市民の孤立防止と暮らしの不安解消等
- 国際人材の育成
外国語指導助手(ALT)の効果的配置
- 外国人児童への支援
帰国児童生徒や外国人児童生徒のための指導協力者の派遣を行うなど個々の状況に応じた支援の充実や国際教育プログラムを実践するインターナショナルスクール誘致の検討

持続可能な都市の在り方の検討

- 人口は一定程度減少し、税収減や担い手不足などの問題は避けられず、そのような中で、市民サービスの維持・向上をしていくためには、様々な観点からの検討が必要
- 環境負荷の低減や過密性の緩和などが人口減少により生じるといふ側面もある。
- 持続可能な都市の在り方の構築に向け、将来のために長期的な検討を重ねていく。

検討に当たっての様々な観点

- 事業の廃止を含めた事業再編・再構築
- デジタル化の推進による生産性の向上
- サービス水準のレベルダウンや負担増加といった行政サービス水準・受益者負担の適正化
- 将来人口に見合った公共施設の規模適正化等
- 新たな法定外目的税の創設や税源涵養の取組等による増収

検討に当たっての様々な手法

- 組織横断的な協働
 - 多様な主体による連携・協働
 - 研究機関等との共同研究
- など

長期的な検討項目

【施策の在り方】
ごみ処理 除排雪 市営住宅
公共交通ネットワーク
高齢者施策 観光振興 など

【施設の在り方】
老人福祉センター 保養センター駒岡
健康づくりセンター 若者活動センター など

持続可能な都市の在り方の構築